

文化講座「特殊研究講座」一覧

平成 18 年度

- 5 月 27 日 (土)「絵本と子どもの教育」 東京大学教授 秋田 喜代美氏
10 月 21 日 (土)「日本のわらべうたとマザーグース」目白大学教授 鷺津 名津江氏

平成 19 年度

- 10 月 27 日 (土)「ホスピスから学ぶいのちの教育」
めぐみ在宅クリニック院長 小澤 竹俊氏

教員学術研究会 (平成 18 年度) 要旨

平成 18 年 6 月 14 日

子どもの造形的な表現と理解 一時間による表現の変化とその記録, 展示方法の考察—

非常勤講師 稲田 大祐

幼児期の子どもの造形的な表現活動は、絵画や粘土作品など最終的に出来上がったものを保育所、幼稚園の作品展などで展示し、紹介されることが多い。しかし、子どもの表現活動は、最後に残った造形作品に表されているのではなく、表現していく過程の中で、様々な形や色など姿を変えている。依然として最終形の造形物だけが保護者の目に触れ、子どもの表現を把握、判断、理解しようとする傾向があるのではないか。表現における過程の重要性は、初等教育、幼児教育の中で十分語られているにもかかわらず、現状ではその過程を捉え、伝え、紹介するような具体的な造形活動、展示方法の工夫や内容の開発が十分なされていないのではないか。

計画性がまだ身についていない、技術的に未熟な子どもにとって、自分の思いや制作の意図を作品の最終段階に表現することは難しい。更に、作品を仕上げるのが目的ではなく、表現活動そのものが楽しみであり、活動それ自体で満足し、特別残るものを求めている場合もある。

ビデオや写真などの事務的な記録ではなく、子どもの活動の変容を残すような造形的な表現や記録、展示方法を研究することで、本当の意味で表現の過程の意義を示し、子どもの表現活動の理解をより多く深め、更には子ども自身にも、活動内容が残る安心感と活動の軌跡を確かめる利点があるのではないかと考えている。そのために、「時間」経過に応じて変化を記録できるような活動内容や提示方法を、作家の制作方法、ベルクソンなどの時間の考え方をヒントにしながら考えている。

子どもの造形的な表現活動を、最終的に出来上がった「点」として捉えるのではなく、メロディーのように、一定の時間の奥行き、ボリュームのある「線」として理解する必要があるのではないか。

具体例として、ある期間を通し同じ版を使用して絵の内容の変化を記録できる版画や、テーマ、カテゴリー別でなく、一人の子どもの作品を制作順に並べて展示する、作品に付け足しながら大きく、長くできる巻物のようなものなどの方法が考えられる。このように、子どもの造形的な表現の理解には、制作方法、展示における新たな視点から更なる研究が必要である。

平成 18 年 11 月 22 日（水）

二つの教材を重ねて読みを深める —吉野弘「夕焼け」と「雪の日に」—

専任講師 平野晶子

国語科において、文学的文章教材（文学作品教材）の指導は、文章を詳細に読み解くことによって登場人物の心情を知り、それに共感していくことに偏りすぎているといわれ、道徳の授業と見紛うとの批判さえある。一方、現行の『小学校学習指導要領解説国語編』（平成 11 年 5 月発行）では、「文学的文章の詳細な読解に偏りがちであった指導の在り方を改め、自分の考えをもち、論理的に意見を述べる能力、目的や場面などに応じて適切に表現する能力、目的に応じた的確に読み取る能力や読書に親しむ能力を育てることを重視する」ことを改善の基本方針とした教育課程審議会答申（平成 10 年 7 月 25 日）を受け、「読むこと」は「話すこと・聞くこと」「書くこと」の後に位置付けられている。実際の教室では、この二つの方向性が混在し、ときに文学作品教材の指導にいささかの混乱をきたす場合もみられる。

文学作品教材を、文章の詳細な読解や登場人物の心情の読み取りに偏ることなく、現在の国語科の目的に沿うように指導する方法はないのだろうか。

その手段として、1 単元に 1 教材の原則を破り、2 つの教材を重ねて読むことを試みた。教材である文学作品には、その作者固有の思想と表現形式がある。同じ作家の別な作品を 2 つ並列し、比較しつつ読むことによって、ストーリーや登場人物の心情を離れ、作品の表現や形式、さらにモチーフやテーマへと読みを深めることができるよう、着目点の転換をはかったものである。中・高等学校国語科の教材として広く用いられてきた吉野弘の詩「夕焼け」と「雪の日に」とを用い、実際に大学生に実施した結果の分析を行った。1 つの教材だけを読んだ時点で〈登場人物の言動・心情〉に着目し主観的な〈感想〉を述べていた学生が、2 つの教材を重ねて読んだ後には〈作品中の表現〉に注目し、客観的な〈論述〉に向かい始めたことを、データをもとに説明した。